

～駅のホームの安全性向上にむけて～

神戸駅3番・4番のりばの「昇降式ホーム柵」、 新今宮駅2番・3番のりばの「可動式ホーム柵」整備着手

JR西日本では、より安全に安心して鉄道をご利用いただけるよう、駅のホームにおける安全性向上を重要な経営課題ととらえ、ハード・ソフトの両面からさまざまな取組みを進めております。

2023年4月1日から京阪神地区の整備対象エリアにおいて、鉄道駅バリアフリー料金制度を活用し、お客様のご理解とご協力をいただきながら、バリアフリー設備の整備を進めております。また、ホーム柵・ホーム安全スクリーンの整備については、「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」の2027年度の到達目標として着実に進めることで、ホームからの転落による列車とお客様の接触事故の防止を図ってまいります。

このたび、神戸駅3番・4番のりばの「昇降式ホーム柵」、新今宮駅2番・3番のりばの「可動式ホーム柵」の整備着手が決まりましたので、お知らせします。

1. 神戸駅 3番・4番のりば「昇降式ホーム柵」

(1) 設置箇所

- ・3番のりば JR神戸線

(主に尼崎・大阪・京都方面の快速・普通電車が発着)

- ・4番のりば JR神戸線

(主に西明石・姫路方面の快速・普通電車が発着)

(2) 諸元

- ・高さ：約1.3m
- ・最大開口：約13.0m
- ・柵延長：約240m/のりば

(3) 使用開始時期

- ・2025年度を予定



(写真は西明石駅6番のりば)

2. 新今宮駅 2番・3番のりば「可動式ホーム柵」

(1) 設置箇所

- ・2番のりば 大和路線、阪和線、関西空港線
(主に王寺、奈良、和歌山・関西空港方面の快速・普通電車が発着)
- ・3番のりば 大和路線、大阪環状線(外回り)
(主にJR難波、西九条、大阪方面の快速・普通電車が発着)

(2) 諸元

- ・高さ：約1.3m
- ・最大開口：約3.5m
- ・柵延長：約160m/のりば

(3) 使用開始時期

- ・2025年度を予定



設置イメージ

[参考]

※鉄道駅バリアフリー料金制度を活用したバリアフリー設備の整備
(2022年8月19日ニュースリリース)

https://www.westjr.co.jp/press/article/2022/08/page_20617.html

※鉄道駅バリアフリー料金制度に関する整備等計画の変更について
(2024年3月27日ニュースリリース)

https://www.westjr.co.jp/press/article/2024/03/page_24888.html

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に9番、10番、11番に貢献するものと考えています。

 | **SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

JR西日本グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

